

—第78編— ホイアン^{*1}

ホイアン (Hoi An) は、ベトナム中部クアンナム省の都市であり、主要な港湾都市ダナン^{*2}の南方30キロ、トゥボン川の河口に位置する古い港町である。人口約12万人。中国人街を中心古い建築が残り、1999年に「ホイアンの古い町並み」としてユネスコの世界遺産に登録された。

今ではリゾート地としても知られるダナンで会議があり、その合間に訪れる機会を得た。チャンパ王国時代^{*3}からの古い港町で、16世紀にチャンパは南に後退し、フエに広南阮氏政権が樹立されるとその外港となった。16世紀末以降、ポルトガル人、オランダ人、中国人、日本人が来航し国際貿易港として繁栄する。1601年には広南阮氏は徳川家康に書簡を送って正式な国交を求め、江戸幕府との取り引きが急速に拡大したという。

その結果、ホイアンには大規模な日本人街や中国人街が形成され、17世紀前半にはオランダ東インド会社^{*5}の商館も設け



写真78-1 ホイアンのショップハウス



写真78-2 来遠橋 (日本橋)



写真78-3 寺院のシンボル竜



写真78-4 伝統的民家の一階

から生活空間を高くする暮らしの知恵を教えてもらった。ベトナム戦争世代の私にとって、当時の想像を絶する辛酸を知るはずの人々と交わす会話の背後に、こうして残った文化遺産を守り続けてきた思いと力を感じたのであった。

られた。しかし、江戸幕府の鎖国により日本人の往来が途絶えると、次いでオランダの商館も閉鎖されるなど、この地域の交易は停滞し一時期の繁栄は失われていくことになる。18世紀には戦乱によって町は完全に破壊されたが、やがて再建され19世紀まで繁栄を見た。その後、河口付近に土砂が堆積して水深が浅くなり、港の交易による繁栄はダナンに取って代わられたのであった。

それでも、往時の街並みは残され、ベトナム戦争時代に破壊されることもなく、現在に至るまで当時の繁栄ぶりと水際の生活文化を今に伝えている。街路に面した立派な伝統的民家を見学すること

もでき、高水時に家具を上上げる工夫や、地盤



写真78-5 ホイアン港



写真78-6 ホイアンの水際市場

*1 Hoi An: ベトナム戦争の被害を免れた古都。人口約12万

*2 Da Nang: ベトナム中部の主要港湾都市。人口約88.7万

*3 Kingdom of Champa (192~1832)

*4 Ho: ベトナム中部の古都。人口30万

*5 Vereenigde Oostindische Compagnie (VOC)